



連合徳島

vol. 323

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- 5月13日(金) 連合四国ブロック最低賃金担当会議(徳島グランヴィリオホテル)
- 5月21日(土) 中小労働対策本部第2期労働関係セミナー(第2回)(ふれあい健康館)
- 6月 7日(火)~8日(水) 女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン(連合徳島会議室)
- 6月18日(土) 中小労働対策本部第2期労働関係セミナー(第3回・第4回)(ふれあい健康館)
- 6月28日(火) 連合徳島2022年度地方委員会(徳島グランヴィリオホテル)
- 6月28日(火) NPO法人徳島労働安全衛生センター第21回定期総会(徳島グランヴィリオホテル)

未解決組合 春闘勝利めざし 支援総決起集会に集う

「賃上げの流れ」を堅持、 「未来づくり春闘」へ

2022春季生活闘争徳島県共闘会議は、2022年4月8日、ふれあい健康館において、2022中小春季生活闘争勝利・未解決組合支援4・8徳島総決起集会を規模縮小にて開催し、各構成組織から57人が参加した。

冒頭、主催者を代表して、徳島県中小労働対策本部井内議長から「コロナ禍の影響により、セーフティネットが脆弱であるために中小企業や影響が大きい産業で働く労働者も厳しい状況にある。非正規雇用として働く人たちの雇用の不安定さや生活面への影響は大きい。

中小企業や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を『働きの価値に見合った水準』に引き上げることが目指すと同時に、『分配構造の転換につながり得る賃上げ』に取り組む。今こそ『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて、経済・



春闘勝利に向け、団結ガンパロウ



民間大手部会社幹事が激励あいさつ

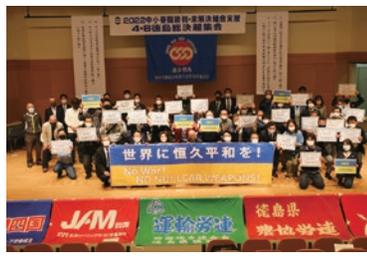
社会的活力の原動力となる『人への投資』を積極的に求める『未来づくり春闘』を目指す。徳島県内の中小企業で働く多くの仲間たちのために全力で闘っていく」と挨拶。

続いて、岡会長代行からは「ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻により民間人に犠牲が出ていることは到底看過できるものではない」と述べた後、「2022春季生活闘争は2年続けてコロナ禍での闘争であるが、GDPは回復途上であり昨年とは状況は異なる。経済・社会の活力の原動力となる『人への投資』により好循環を生み出さなければならぬ。労働組合が働く仲間の先頭となり組織一丸となって闘い抜こう」と挨拶。

続いて、辻民間大手部会幹事からの激励・連帯挨拶の後、島共闘会議事務局長から2022春季生活闘争賃上げの情報周知と、未解決組合支援方針として「す

べての組合が月例賃金の改善にこだわり、それぞれの賃金水準を確認しながら、『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組みをより強力に推し進める。それぞれの産業における最大限の『底上げ』に取り組む。『賃上げ分2%程度』『定期昇給相当(賃金カーブ維持相当分)』を含め4%程度の賃上げを目安とし、感染症対策と経済の自立的成長の両立をめざす」と提案。

官公労部会から(中川公務労協議長、地場中小労組からJAM(川崎JAM光洋シーリングテクノ/労組書記次長)、全国一般(田北全国一般徳島地方労働組合執行委員長)、運輸労連(久保運輸労連徳島県協議会事務局長)、U.A.セン(恵島U.A.セン徳島支部次長)、私鉄総連(松本私鉄総連徳島バス労働組合調査・財政部長)、農協労連(山田徳島県農協労連執行委員長)が未解決組合決意表明をし、2022中小春季生活闘争アピールを徳島県中小労働対策本部立花幹事が読み上げ参加者全員の拍手で採決され、最後に井内議長の団結ガンパローで閉会した。



各構成組織から57人が参加

2022年2月19日、連合徳島会議室において、連合徳島の中小労組等から35人が参加し「徳島県中小労働対策本部・研修会」をハイブリッド型式で開催した。

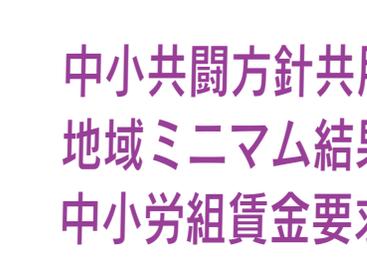
徳島県中小労働対策本部研修会・第31回定期総会

中小共闘方針共用化 地域ミニマム結果の活用& 中小労組賃金要求の組み立てを学習

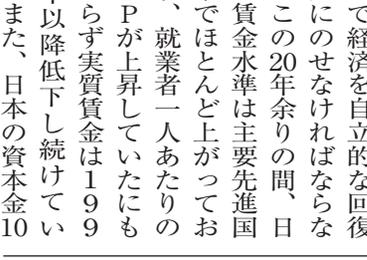
保局長を講師に「2022春季生活闘争における中小組合の取り組みについて」講演され「コロナ禍においても春闘をなぜ闘わなければならないのか。2022春季生活闘争の意義とスタンスとしてコロナ禍にあっても『働くことを軸とする安心社会』の実現に向け、働く仲間が共闘し未来への一歩を踏み出さなければならない。また、すべての組合が賃上げに取り組むこと『格差是正』の取り組みを加速させ、分配構造を転換する突破口とする。働き方の改善、経済対策などとセットで経済を自立的な回復軌道にのせなければならぬ。この20年余りの間、日本の賃金水準は主要先進国の中でほとんど上がっておらず、就業者一人あたりのGDPが上昇していたにもかかわらず、実質賃金は1997年以降低下し続けている。また、日本の資本金10

億円以上の企業の経常利益・給与・配当の推移をみても配当金は上がっても従業員給与は上がっていない状況である。分配と経済の好循環がなされていない」と述べ、賃金要求についての賃金実態把握・最低到達水準のクリア・目標水準のクリアに基づく要求の組み立て、地域ミニマム運動の進め方についても説明があった。

例年、徳島県中小労働対策本部第31回定期総会と研修会を同日に開催していたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から定期総会を書面開催とした。



「中小労組春闘の取り組み」を説明する大久保局長(Web開催)



各構成組織から35人が参加

三好市議会議員選挙

2022年4月10日投票日を迎えた三好市議会議員選挙において、連合徳島推薦候補者5名全員が当選を果たした。ご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

当 5位	774票	竹内 義了(自治労)
当 6位	731票	平田 政廣(自治労)
当 10位	642票	天羽 強(自治労)
当 12位	622票	高橋 玉美(自治労)
当 15位	579票	金村 照一(JP労組)

ウクライナ 救援カンパ 受付中

ウクライナの人々に安心した生活を
想いをカタチに ~連合・ゆにふぁん~

連合 ゆにふぁん

総会議長には、川崎幹事を選出した。井内徳島県中小労働対策本部議長は主催者代表の挨拶で、「今年度は、徳島県中小労働対策本部が結成され30周年という節目の年であり、発足当時の理念である賃金・労働時間・福利厚生など、大企業との比較の中で低位にある中小企業の実態を明らかにし、労働条件の向上、格差解消へ向けての総合的な取り組みを行うとともに『中小企業の経営基盤と雇用の安定』のための諸対策を進めることを、今こそしっかりと実践していく」と決意を表明した。

2022春闘政策・制度要求

県内3団体に要請書提出

連合徳島2022春季生活闘争要請行動を、3月4日徳島県を皮切りに経営4団体、労働局に行った。

徳島県への要請では、冒頭、大谷会長より、「2022春季生活闘争は2年連続コロナ下での取り組みとなるが、『未来をつくる。みんなで作る』をスローガンに『すべての組合が賃上げに取り組み』ことを目標としている」とあいさつ。

その後、すべての労働者の立場にたった働き方を実現するため、中小企業などの『働き方改革』を阻害するような取引慣行の是正などを強化すること『税制改正』

連合の重点政策および実現に向け、意見交換

四国ブロック政策担当者会議

四国ブロック政策担当者会議が2022年4月6日徳島グランヴィリオホテルにて開かれた。

開会にあたり大谷会長より、雇用保険法・職業安定法・職業能力開発促進法などの東ね法案が3月30日可決成立したことを受け、職

安法・能開法はデジタル化やニーズに基づく職業訓練の検討など、円滑な就職活動などに向け前進したもの

の内容について、住民や企業への周知・広報活動を強化すること『子どもが心身ともに健やかに成長するために必要な、幼児教育・保育の『質の確保』のため、幼稚園教諭・保育士・放課後児童支援員等の労働条件と職場環境の改善を行うこと』

その後本部より、「連合の政策実現に向けた取り組み」2022年度連合の重点政策『第208通常国会における法案対応』について



徳島県要請



労働局要請



経営4団体要請



連合本部・富田総合政策推進局長が重点政策等を説明

て提起を受け意見交換を行った。徳島からは、中央地協松本事務局長より、地域医療構想について、保健所の体制強化とあるが、体制強化を国に要請しても自治体に対して丸投げして何の改善にもつながらない。体制強

化に向けて国が支援するよう求めてほしいと要望。その他各県から①マイナンバーカードの普及②税制改革③脱炭素社会④ハラスメント対策⑤社会保障制度



四国各県から21人が参加

世界に恒久平和を！ NO WAR! ロシアのウクライナ侵攻即時撤退を



3月29日連合徳島は、「ロシアのウクライナ侵攻に対する街宣・周知活動」を徳島駅前において行った。当日は、構成組織から36人が「世界に恒久平和を！ No War! NO NUCLEAR WEAPON S!」と書いた横断幕やウクライナカラーのアピールボードを持って行動に参加した。



道行く人に訴える弁士ら

冒頭、連合徳島大谷会長より、2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻したことは許されないことである。しかし、2001年にアメリカが9・11同時多発テロ指導者を匿っているという理由で行ったアフガニスタン軍事行動、核を含む大量破壊兵器を製造・保持し



横断幕・アピールボードで県民に周知

ているからという理由で2003年に行ったイラクへの軍事侵攻、国際法違反をしていたにもかかわらず糾弾されることは無かったことと重ねて当時のメディア報道に違和感を感じた。すべての戦争は最大の人権侵害であり、ロシアのウクライナからの無条件での即時撤退は当然のことながら、

国際女性デー

JR徳島駅前であピール活動

2022年3月8日、JR徳島駅前にて「3・8国際女性デー第26回徳島県集会」を開催した。本年も昨年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、街宣カーによるリレートークのみとし、急遽欠席となった吉田益子県議会議員から託されたウクライナカラーのマスクを着用し行った。

連合徳島女性委員会三木事務局長の司会で開会し、

実行委員長である連合徳島女性委員会藤田委員長のあいさつに続き、連合徳島大谷会長より日本のジェンダーギャップ指数の低さ、中でも政治・経済における男女の差の問題があると訴えた。その後①イーブンネット・徳島代表諏訪公子さん②徳島県女性協議会大寺禮子さん③徳島県議会議員東條恭子さん④連合徳島副会長賀川健一さん⑤部落解放



藤田実行委員長があいさつ



JR徳島駅前であピール



金格差、ロシアのウクライナ侵攻問題などについて訴え終了した。



各構成組織等の協力で苗木を植樹

海陽町大里海岸に350本黒松を植樹

連合徳島3地協

2022年3月5日、連合徳島・3地域協議会は、海陽町大里海岸の防災植樹を行った。

徳島県で唯一日本の「白砂青松百選」に選ばれた大里松原は、海岸に約4km、面積26畝、樹齢は200年になるものもある松林であり、台風時の暴風や飛砂、塩害等を防ぐ「潮害防備保安林」として災害から地域住民の生命や財産を守る働きを担ってきた。しかし、松くい虫による松枯れの影響を強く受け、かつての美しい松林を維持するのは非常に難しくなっている。更に、2019年10月には、台風19号により高潮被害を受け林帯幅の半分を超える範囲が浸水し、約12畝にわたり立木が枯死した。

また、1946年の昭和南海地震から70年以上が経過後の南海トラフ地震発生時の切迫感が高まっている。特に、最近では大規模台風、線状降水帯豪雨、豪雪などによる大規模自然災害が多発している。

切迫感の高まる南海トラフ地震や津波、そして昨今被害が大きくなっている台風などに備え美しい松林再生と防災意識高揚のため地元住民が取り組む植樹に連合徳島・3地域協議会合同で協力すると言いう目的で実施。



約80人が参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が危ぶまれたが、室内での防災研修会は中止し、植樹のみ開催した。地元大里部落、海陽町職員労働組合の皆さんをはじめとする約80人が参加し、黒松が枯死し伐採整地した海岸に黒松の苗350本を植樹した。当日風は強かったが晴天に恵まれ植樹日和のなか、参加者の皆さんが鍬やスコップで黒松の苗を植え、子ども達も植樹した黒松の根元を元気に

く踏み固め大きく育てと祈った。なお、記念撮影では参加者全員がロシア軍のウクライナ侵攻に抗議しピースポードを持ちアピールした。

この取り組みは高く評価され、日本財団「子どもの第三の居場所助成事業」に選ばれることになった。などの説明を受けた。



表彰式に臨む連合徳島大谷会長



表彰式開会にあたり主催者を代表して、連合徳島大谷会長から連合徳島の概要を説明の後「2022 Syuntoふれあいファミリーデー・絵画コンクールに多くの作品を応募していただき感謝する。子どもたちの将来の夢を知ることが出来る。作品は子どもたちの思いが込められた素晴らしい作品ばかりで目を引かれた。これからも伸びのびとした感性で沢山の素敵な絵を描いてほしい」と述べた。

この作品は子どもたちの思いが込められた素晴らしい作品ばかりで目を引かれた。これからも伸びのびとした感性で沢山の素敵な絵を描いてほしい」と述べた。



受賞作品展示

冒頭、青年委員会小畑委員長から「コロナ禍の中、学習会を幹事会役員のみで縮小開催となったが今後の活動に役立つ学びとした」と挨拶。

続いて、喜多條雅子理事から「NPO法人「クレール」はスペイン語で『信じる』という意味で、障がいのある人が社会で自立して働くチャンスを得て可能性を信じて共に努力を続ける、という信念の元2008年7月に設立した。障がいのある人は、社会の中で自立していくために、一定のサポートが必要であるが、行政・福祉・公的サービスののみでは十分に行き届いていない。事業を通じて、寄り添いながらギャップを埋めるための環境づくりを目指して懸命に活動を継続している。障がいのある人が働いて自立していくためには、ただ理想を語るだけではなく、市場で勝負できる商品・サービスを提供することにより、しっかりとした資金も支払いながら事業を育て継続し発展していかなければならない。初めは居留守やそっけない対応であったが対話を重ねたことで利用者からの信頼を得ることができ、ボランティアからは『やりがいを感じる』という声があつた。取り組みは高く評価され、日本財団「子どもの第三の居場所助成事業」に選ばれることになった。などの説明を受けた。

学習研修会のおまとめ・閉会の挨拶を小畑青年委員長が述べ、団結ガンパローで終えた。

連合徳島の活動をアピール 2022 Syuntoふれあいファミリーデー 絵画コンクールを開催

県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は、2022年3月13日、2022 Syuntoふれあいファミリーデー「わたしのゆめ」絵画コンクールの表彰式を徳島市万代町にある特定非営利活動法人Creer(クレール)にて開催した。

作品の展示は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から受賞作品のみを展示とし、期間も3月21日までに変更した。応募作品は県内の小学生から446作品が寄せられ、受賞作品の選考には、県内



労働者福祉協議会川越会長から賞品授与

で活躍する画家の青木成美先生をはじめ、連合徳島会長と執行部、(公社)徳島県労働者福祉協議会会長と役員が行い、低学年の部・高学年の部ごとに最優秀賞・連合徳島会長賞・徳島県労働者福祉協議会会長賞・特別賞・夢ふくらむで賞が選ばれた。

来て嬉しく思う。5年後、10年後の子どもたちのためにも、県内で働く皆さんと一緒に未来に向けて取り組んで行きたい」と挨拶。その後、両会長から表彰状と賞品が各受賞者に手渡された。審査をお願した青木成美先生からは「すべての作品は子どもたちの思いが込められた素晴らしい作品ばかりで目を引かれた。これからも伸びのびとした感性で沢山の素敵な絵を描いてほしい」と述べた。

最優秀賞(低学年の部)に原田万理子さん、(高学年の部)に池尾美咲さんが受賞。連合徳島会長賞(低学年の部)に尾崎めいさん、(高学年の部)に伊丹友理奈さんが受賞。徳島県労働者福祉協議会会長賞(低学年の部)に富崎香穂さん、(高学年の部)に大倉知紗さんが受賞した。

なお、連合徳島ホームページに、すべての作品と作者名を発表。受賞作品の作品展は、特定非営利活動法人Creer(クレール)にておいて3月21日(月)まで開催した。

冒頭、青年委員会小畑委員長から「コロナ禍の中、学習会を幹事会役員のみで縮小開催となったが今後の活動に役立つ学びとした」と挨拶。

喜多條雅子理事を講師に「障がいのある人とのパートナーシップでつくるダイバーシティの推進とSDGsの取り組み」をテーマに春季学習研修会を開催し、幹事会役員等8人が参加した。

この取り組みは高く評価され、日本財団「子どもの第三の居場所助成事業」に選ばれることになった。などの説明を受けた。

学習研修会のおまとめ・閉会の挨拶を小畑青年委員長が述べ、団結ガンパローで終えた。



講演するNPO法人Creer喜多條理事



小畑青年委員長の発声で団結ガンパロー

青年委員会 多様性の推進とSDGsの 取り組みをテーマに学習

この取り組みは高く評価され、日本財団「子どもの第三の居場所助成事業」に選ばれることになった。などの説明を受けた。



大谷実行委員長があいさつ

第42回部落解放・人権徳島地方研究会を2月17日、18日の2日間で開催した。新型コロナウイルス感染拡大により、全体集会(17日)は徳島グランヴィリオホテルにおける集合形式とZoomによる配信のハイブリッド開催、分科会(18日)はZoom配信のみとした。開会にあたり大谷竹人実行委員長より、誰でも差別する側にも差別される側にもなり得る、差別すること、されることなく、自分らしく生きることができる社会をめざし一歩踏み出してほしいとあいさつした。

その後、石川一雄さん早智子さんご夫妻からのあいさつ、組長委員長の基調講演、村上達哉さんによる反差別研修報告を受け、徳島大学総合科学部齋場和彦教授による「人権・平和・民主主義・憲法 普遍的原则がなぜ日本では損なわれるのか」要因としての政治教育の欠陥」と題し記念講演をいただいた。

記念講演では、ジェンダー平等、人権問題が世界的に進むなか、日本においては様々な人権問題が起こる「人権後進国」であることや、投票率の低下が報道の自由を奪い平和まで脅かされている現状をふまえて、またもな政治教育の重要性について提起した。

2日目の分科会は、オミクロン株の急拡大により、事前に収録したものをZoom配信とした。

なお、全体集会は会場参加者119人+Zoomアクトセス360、分科会は8分科会トータル890アクセスとなった。

部落解放・人権政策確立めざし 県民運動を展開へ

―第42回部落解放・人権徳島地方研究会―

参議院の比例代表選挙は、政党名と個人名どちらでも投票できます。個人名で投票すれば、政党にも投票したことになり、当選させたい人も選べるのです。個人名で投票することがベストです。



第26回参議院選挙連合推薦比例区候補者一覧



2022年7月に予定されている参議院選挙に向けて、連合は、政策を共有する候補者を推薦しています。連合ホームページ(トップページ)のバナーもしくはURLからアクセスをお願いいたします。

https://www.jtuc-rengo.or.jp/senkyo/26th_sangiin/

なお、比例区候補者の詳細ページ(候補者名をクリック)では、高解像度写真のダウンロードが可能です。ぜひご活用ください。

<p>ムダにしません。 汗と税!</p> <p>国民民主党 現職(2期)</p> <p>かわい たかのり</p> <p>川合 孝典</p>	<p>みんなで つなげる 明るい未来</p> <p>国民民主党 現職(1期)</p> <p>はまぐち まこと</p> <p>浜口 誠</p>	<p>公共サービスの 誠のために</p> <p>立憲民主党 新人</p> <p>おにき まこと</p> <p>鬼木 まこと</p>
<p>あなたと動けば、 未来は変わる。</p> <p>国民民主党 現職(1期)</p> <p>やた わかこ</p> <p>矢田 わか子</p>	<p>あなたの笑顔 をみたいから ~ここからつくる、 みんなの未来~</p> <p>立憲民主党 新人</p> <p>むらた きょうこ</p> <p>村田 享子</p>	<p>絆を結び、 未来をつくる。</p> <p>立憲民主党 新人</p> <p>しば しんいち</p> <p>しば 慎一</p>
<p>子ども、くらし、 平和</p> <p>立憲民主党 新人</p> <p>こが ちかげ</p> <p>古賀 ちかげ</p>	<p>頼れる政治。 職場の声が原点!</p> <p>国民民主党 新人</p> <p>たけづめ ひとし</p> <p>竹 詰 仁</p>	<p>つながって、 ささえあう社会へ</p> <p>立憲民主党 現職(2期)</p> <p>いしばし みちひろ</p> <p>石橋 みちひろ</p>